

「山梨医科学雑誌」投稿規定

- 1 投稿資格 原則として山梨大学医学会会員に限る。
- 2 投稿の種類 総説, 原著, 症例報告, 臨床研究で原稿表紙に明記する。
- 3 執筆規定
 - A 和文論文
 - a) 原稿の形式 表紙, 和文要旨, 英文要旨, 本文, 引用文献, 表(説明付), 図(写真)の説明, 図の順とし, コピー2部とともに提出する。但し, 英文要旨は省略することができる。
 - b) 用紙と長さ 手書きの場合はA4版横書400字詰原稿用紙, ワープロ原稿の場合はA4版タイプ用紙を用いる。長さは, 原著, 症例報告, 臨床研究では本文400字詰原稿用紙20枚以内, 図表5コ以内, 総説は本文30枚以内, 図表10コ以内を基準とする。ワープロ原稿の場合は, 横書きで, 1行40字1ページ30行を基準とし, 本文の長さは, 総説以外は7枚以内(約8000字), 総説は10枚以内(約12000字)とする。
 - c) 表紙の記載順序 和文題名, 著者名, 所属名, 英文題名(全部大文字), ローマ字の著者名(例 Taro TANAKA), 英文所属名, Key words(5語以内とし, 日本語と英語を並記する), 20字以内のランニングタイトル, 本文総枚数, 表, 図の枚数, 別冊希望数(50部単位, 朱書)とし, 編集部への希望事項は別紙に記入添付する。共著者のいる論文では, 投稿時に必ず共著者全員の同意を得ているものとする。
 - d) 和文要旨と英文要旨 和文要旨は500字以内とする。英文要旨は200語以内としダブルスペースでタイプする。
 - e) 本文の形式 原著の項目は緒言(はじめに), 材料および方法, 結果, 考察, の順とし, 結果は要旨に含まれるものとする。各項目の細分は次のようにする。I, II, ……., A, B, ……., 1, 2, ……., a, b, ……., (1), (2), ……。。図, 表およびその説明は, 和文, 英文のいずれも可とする。表には縦線をいれない。
 - f) 書体と用語 現代かなづかいのひらがな, 常用漢字を用い, 十分に推敲した原稿とする。乱雑な原稿は受け付けない。句読点, 括弧は正確につけ1字分としてあける。本文中の欧文単語はタイプで打つか活字体で記す。学名にはアンダーラインを付す。医学用語は日本医学用語委員会制定の用語を用いる。
 - g) 度量衡の単位および略号 単位は国際単位(SI)に準拠し, ペリオドをつけない。
 - h) 引用文献 引用番号は本文中に現われた順とし, 引用箇所右肩に片括弧(例…… Virchow¹⁾)で記載する。引用文献の記載方法は引用番号順に下記の例に従ってまとめる。著者が多い場合は6番目以降の著者名は省略する。雑誌名は和雑誌の場合は医学中央雑誌所載誌目録略名表, 洋雑誌の場合は Index Medicus 所載のものとする。

和文原著論文

 - 1) 中館一郎, 滝川泰浩, 岩井正勝, 稲葉幸二, 遠藤龍仁, ほか: 劇症肝炎の成因と成因ウイルス別にみた臨床的特徴。肝臓, 36: 1-6, 1996。

和文単行本

 - 2) 豊長純, 谷川寿一: 門脈圧亢進症における胃病変の治療。青木治夫, 小林道夫編。食道・胃静脈瘤の病態と治療。医学書院, 東京: 272-279, 1996。

欧文原著論文

 - 3) Rivoltini LY, Kawakami K, Sakaguchi S, Southwood A, Sette P, *et al.*: Induction of tumor reactive CTL from peripheral blood and tumor infiltrating lymphocytes of melanoma patients. J Immunol, 154: 2257-2258, 1995。

欧文単行本

 - 4) Burnet FM, Warner J: Genetic interactions between animal viruses. In: Burnet FM, Stanley WM, eds. The Virus, 3. Academic Press, New York: 275-305, 1959。
 - i) 図(写真), 表 そのまま印刷できる明瞭なもので, カラー印刷やトレーシングを必要とする場合は実費を徴収する。表1, 図1……として, 本文中に挿入すべき場所を明記する。図(写真)はキャビネット大の光沢写真版とし, 裏面に図, 表の番号, 著者名, 図の上下の指示を記入する。図, 表およびその説明は和文, 英文のいずれでも可とする。表には縦線を入れない。
 - j) 臨床の論文で医学倫理上の問題を含むものでは, 大学などの倫理委員会の承認を得て適切に行われていなければ受理しない。適切に行われたことを示すために, 例えば「本研究は山梨大学倫理委員会の承認を得て行われた」と本文中または文末に記載すること。
 - k) 動物を用いた論文の場合, 実験が適切に行われていなければ論文を受理しない。適切に行われたことを示すために, 例えば「本研究は山梨大学動物実験委員会の承認を得て行われた」と本文中または文末に記載すること。

B 英文論文

- a) 英文論文の種類, 形式などは和文論文に準ずる。ただし, 和文要旨はつけなくてよい。
 - b) **用紙と長さ** A4版タイプ用紙にタイプまたはワープロ打ちとし, ダブルスペースで1頁25行とする。長さは, 総説以外では本文12頁以内, 図表5コ以内, 総説では本文20枚以内, 図表10コ以内を基準とする。
 - c) **表紙の記載順序** 英文題名(全部大文字), 著者名(例 Taro TANAKA), 英文所属名, Key words(5語以内), 40字以内のランニングタイトル, 本文総枚数, 表, 図の枚数, 別冊希望数(50部単位, 朱書)とし, 編集部への希望事項は別紙に記入添付する。共著者のいる論文では, 投稿時に必ず共著者全員の同意を得ているものとする。
 - d) **本文の形式** 本文の形式は和文論文に準じ, Abstractは200語以内とする。
 - e) **引用文献** 引用文献の記載方法は和文論文に準ずる。和文文献には末尾に(in Japanese)を入れる。
 - f) 臨床の論文で医学倫理上の問題を含むものでは, 適切に行われたことを示すために, 例えば“The study was performed in accordance with the guideline for Clinical Experiment, University of Yamanashi.”と文中または文末に記載すること。
 - g) 動物を用いた論文の場合, 大学の動物実験委員会の承認を得て適切に行われたことを示すために, Methods欄の適当な場所に, “All animal experiments were approved by University of Yamanashi Animal Care and Use Committee.”と記載すること。
 - h) **欧文論文** 英文以外の欧文論文も受け付けるが投稿規定は英文論文に準ずる。この場合, 欧文要旨のほかに英文要旨をつける。
- 4 **原稿の依頼, 採否, 掲載順序** 編集委員会が決定する。編集委員会は山梨医科学雑誌編集幹事, 編集委員と山梨大学医師会で構成する。論文は2名以上の編集委員または編集協力者により査読される。
 - 5 **校正** 初校および再校を著者の責任において行う。原則として原文の変更追加は認めない。
 - 6 **費用** 現在(2003年4月), 掲載料は請求していない。但し, カラー写真などの印刷で, とくに費用を要する場合には, 著者に実費を請求する。別冊は50部までは無料, それ以上の別冊費用は1部につき50円を著者負担とする。
 - 7 **原稿の送り先** 山梨大学医学会内 山梨医科学雑誌編集委員会(現在, 事務局は生理学第1講座にある。)
- 追記**
- 1) **YMJ Square** ページ外記事として投稿できるコラムにYMJ Squareがあります。投稿資格は会員に限りませんが, YMJの読者を対象とした情報記事で, 医学, 科学, 医学教育, 社会問題, 出版物や研究論文の紹介等何でも結構です。書式は自由ですが, 長さは原則として和文で3000字以内です。掲載の採否は編集委員会で決定いたします。
 - 2) **英文校閲** 英文論文および和文論文の英文要旨はNative speakerによる校閲をいたします(校閲料は当医学会で負担しております)。その結果, 原稿の打ち直しが必要と認められた場合は著者にお願ひします。ただし, 校閲事項の取捨選択は著者の責任において行ってください。また, 投稿以前にNative speakerの英文添削を受けている場合は投稿時に編集委員会までお申し出ください。
 - 3) **CDの提出** YMJ刊行を時間的, 経済的に節約するため, 受理後に原稿のファイルが入ったCDの提出をお願いしております。どんなワープロソフトで作成されても結構ですが, なるべく, 文書ファイルの他にテキストファイル形式でダウンロードしたファイルも一緒をお願いします。ディスクは印刷後お返しします。

「山梨医科学雑誌」編集委員会

委員長: 北村 正敬(分子情報伝達学)

委員: 安達 登(法医学)	飯島 純夫(地域・老人看護学)	大野 伸一(解剖分子組織学)
加藤 良平(人体病理学)	久保田健夫(環境遺伝医学)	杉田 完爾(小児科学)
杉山 篤(薬理学)	田辺 文憲(人間科学・基礎看護学)	手塚 英夫(総合分析実験センター)
範 江林(分子病理学)	藤井 秀樹(外科学1)	松田 兼一(救急部)
三井 和浩(生化学2)	山縣然太郎(社会医学)	

アイウエオ順

著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は, 山梨医科学雑誌編集委員会に帰属する。

本誌に掲載された論文・記事等の一部は, インターネット上で公開するものとする(15巻2号より)。

平成16年3月投稿規定改正